

(1)食を通じて健康な体をつくる

1-1. ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 妊産婦や乳幼児を持つ親の食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子健康手帳交付や乳幼児健診といった機会を利用して、妊産婦の栄養や乳幼児の食事摂取についての正しい知識の啓発、情報提供を行います。</li> <li>・パパママ教室・離乳食教室等を開催し、リーフレットの配布や講義等を通じて、食育の普及啓発を実施していきます。</li> </ul>	健康推進課	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦とその夫を対象にパパママ教室を行いました。</li> <li>実施回数と参加人数は以下の通り。 R03：12回、127人</li> <li>・第1子を持つ保護者を対象に離乳食教室を行いました。実施回数と参加人数は以下の通り。 R03：12回、161人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種教室で普及啓発ができていたため、今後も継続して実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策のため、離乳食の試食が再開できていない。</li> </ul>	食と健康を考える会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園の乳幼児の食に対する相談を実施します。</li> <li>・調和のとれた食事、十分な睡眠といった基礎的な生活習慣の確立や生活リズムの向上のために「早寝・早起き・朝ごはん運動」の普及促進を図ります。</li> <li>・幼稚園・保育園の保護者の食育に向けた意識を高めるため、園だより等を活用した啓発活動を実施します。</li> </ul>	子ども未来課	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園開放や子育て支援事業「たけのこクラブ」の参加者の相談を受けたり「食」について話したりした。</li> <li>・保育園の園だよりなどで、保護者向けに啓発を行った。</li> <li>・年長児はクッキングをし、その内容を保護者にクラス便りでも知らせることで「食」について家庭でも話題にしよう機会を作った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、園開放や保育園だよりなどとおして、「食」について家庭でも話してもらう機会を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への啓蒙をしても反応の薄い保護者の意識を変えるのは地道な努力が必要。</li> </ul>	とくになし
イ 乳幼児期の食育の推進(幼稚園・保育園における食育の推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園においては、子どもたちの食への意欲を高めていくために、各年齢に適した年間食育計画を策定し、計画に基づき食育を実施していきます。</li> </ul>	子ども未来課	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの年齢に応じた食育計画を策定し、計画に基づいて食育を実施した。</li> <li>・保育園の園だよりなどで、保護者に向けて啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、食育計画の策定と保育園だよりでの啓発を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育計画に従い、年齢ごとに食事のマナーや知識、食材や食品への興味を拓くように進めることができた。</li> </ul>	とくになし
ウ 小中学生の食育の推進(学校・児童館等における食育の推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や給食の時間を活用して、担任あるいは栄養教諭等による食に関する指導を行います。</li> <li>・給食委員による毎月の給食目標の呼びかけ、校内放送による献立解説(地場産物、栄養、行事食等)などの取組を実施します。</li> <li>・保健だよりを通じて、食育に関する児童への啓発や保護者への協力の呼びかけを行います。</li> </ul>	教育総務課	①②③⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科、家庭科、体育、保健、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の授業や給食の時間を中心に、担任や教科担任、あるいは学校栄養教諭による指導を行った。</li> <li>・給食委員により、毎月の給食目標の呼びかけを行った。</li> <li>・栄養教諭による栄養指導 R3年度実績 54時間(小中学校) 給食指導186回(長小)、183回(南小)、174回(長中) 放送による献立解説(地場産物、栄養、行事食等)を行った。</li> <li>・養護教諭や給食主任が作成する保健だより、給食だよりでの児童への啓発や保護者への協力の呼びかけを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科、家庭科、体育、保健、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の授業や給食の時間を中心に、担任や教科担任、あるいは学校栄養教諭による指導を行う。</li> <li>・給食委員により、毎月の給食目標の呼びかけを行う。</li> <li>・栄養教諭による栄養指導や放送による献立解説(地場産物、栄養、行事食等)を行う。</li> <li>・養護教諭や給食主任が作成する保健だより、給食だよりでの児童への啓発や保護者への協力の呼びかけを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭の指導時間数の確保</li> <li>・統一した指導を行うための、連絡調整を難し</li> </ul>	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用献立表の配布、学校給食だよりの発行により、食に関する情報発信を行います。</li> </ul>	給食センター	①②③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭配布用献立表の発行(全11回)</li> <li>・学校給食だより「ながくての給食」の発行(全3回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、献立表と学校給食だより「ながくての給食」の発行を行う。</li> </ul>	とくになし	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館においては、食への関心を深めるために小学生を対象とした調理体験を開催します。</li> </ul>	子ども未来課	①⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの年齢に応じた食育計画を策定し、計画に基づいて食育を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる範囲で調理を実施し、作ることの喜びや食べることの楽しさを共有した。また、野菜を植え自身で収穫し持ち帰っている。</li> </ul>	とくになし	児童館おたすけたい
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と平成こども塾とが連携し、屋外でのカレーライスづくり、郷土料理など食育に関する体験型のプログラムを実施します。</li> </ul>	平成こども塾	①⑧⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の学校連携事業での食育関連プログラム(34回実施、1,009人の児童が参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の学校連携事業における食関連プログラムは、計64回を実施予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を継続募集し、新規加入者を増やす。</li> </ul>	野外活動同好会、Heartの会
エ 若い世代を中心とした食育の推進(青年期及び子育て世代の食育の推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ・広報でのPR、健診でのリーフレットの配布などにより、食生活の大切さを啓発していきます。</li> <li>・小中学生や若者世代の朝食の欠食を減らすことをねらいとして、朝食づくり講座、朝食レシピの公開を実施します。</li> </ul>	健康推進課	①②③④⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策として朝食づくり講座は中止、代わりに市HPにて、朝食の大切さや、レシピを公開してPR。</li> <li>既存のリーフレットを、成人式、39歳以下健診時で配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生親子を対象に、朝食づくり講座を実施。 R4：1回、参加人数：15人</li> <li>・既存のリーフレットを、成人式、39歳以下健診時で配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染対策のため、朝食づくり講座の調理実習が再開できていない。</li> </ul>	食と健康を考える会
オ 働く世代に対する食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会、情報発信、料理教室など、大学・学生等と連携しつつ、若い世代をターゲットとした新たな食育の場や機会を創出(検討)していきます。</li> </ul>	みどりの推進課	①④⑤⑥⑦	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋学芸大学と連携し、長久手イオン店内及び長久手イオンHPにて、食育をテーマにした約20分の動画を流し、食育推進計画や食育等についての情報発信を行う予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信をするだけでなく、食育を自分事として考えてもらうことが必要。</li> </ul>	とくになし
カ 高齢期における食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO等が実施するサロンなどと連携・協力して、共食の場づくりを支援します。</li> <li>・事業者等と協力しながら、高齢者が集まる機会や場を活用して、食と栄養に関する豆知識など、高齢者が食育について学ぶ機会を提供していきます。</li> </ul>	長寿課	①⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業と連携し、運動教室と併せて栄養士による食生活に関する栄養講座を月2～3回程度実施し、延べ319名が参加した。間食の摂取においても栄養素を意識することや、タンパク質の摂取を意識的に心がけること等を学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健事業と介護予防の一体的実施事業として、7カ所の活動団体において、年3回栄養士による講義を実施し、毎回のアンケートにより評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度まで介護予防事業の取組において、共食を含んだプログラムを実施したり、食事を提供するコミュニティカフェ等と連携して事業を行っていたが、コロナウイルス感染症の蔓延防止のため食事のプログラムを停止しており、共食の場づくりが困難になっている。</li> </ul>	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら料理をつくって楽しむ高齢者を増やすため、活動団体等と協力して、高齢者向けの料理教室などの活動を普及・支援していきます。</li> <li>・料理方法や食材に関する豆知識など、高齢者の知恵やノウハウを次世代に伝承していくための情報発信やイベント開催に取り組みます。</li> <li>・高齢者向けの食育の機会を増やしていくよう、民間の医療機関・介護事業所などにも協力を呼びかけます。</li> </ul>	みどりの推進課	①⑧	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向けの食育イベントの実施や、民間の医療機関・介護事業所等との連携について、実施方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の食育に対するニーズを把握するための協力者をどのように見つけるか。</li> </ul>	とくになし

1-2. 生活習慣病や肥満等の予防

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 子どもの肥満予防等の推進	・リズム遊びや戸外遊びなどを通して、健康的な体の成長を促す保育を実施します。	子ども未来課	-	・デイリープログラムの中でリズムあそびや戸外遊びを充実し、積極的に身体を動かす体験を増やす。	・引き続き、リズムあそびや戸外遊びを充実させる。	・リズム遊び等を通して、怪我をしないよう足腰を鍛えたり、ローマッドを利用して体の柔軟性を高めたり、健康的な体の成長を促している。また継続的な職員の研修が必要である	とくになし
	・学校関係者等と連携し、学校医による学校保健活動を通して肥満の予防や肥満傾向の児童生徒に対する指導を行います。 ・学校関係者等と連携し、生活習慣病や肥満等に関する知識の普及啓発を進めます。	教育総務課	㊦	・学校においては、身体測定結果から成長曲線・肥満度曲線を作成し、学校医に専門医の診察が必要と診断された場合は、受診勧奨を行った。	・学校においては、身体測定結果から成長曲線・肥満度曲線を作成し、学校医に専門医の診察が必要と診断された場合は、受診勧奨を行う。	とくになし	とくになし
イ 健康寿命の延伸につながる食育の推進	・生活習慣病を予防するため、若年期からのメタボリックシンドロームや若い女性の過度なダイエットなどのリスクについて正しい知識の普及啓発を行います。 ・生活習慣病の予防対策を目的として、39歳以下健診の受診促進を図ります。 ・栄養と運動の両面をとらえた食生活の改善、肥満防止対策を推進していくため、健康講座や健康相談の充実を図ります。	健康推進課	㊦	・健康講座として骨密度測定会を実施し、希望者にはその場での食と運動の個別相談も実施した。 R3：健康測定会 59人 ・体成分分析装置の測定会やまちの保健師活動で体成分分析装置を活用した健康相談を実施した。 R3：体成分分析装置測定会 80人	・健康講座として骨密度測定会を年1～2回実施し、希望者にはその場での食と運動の個別相談も実施する予定。 ・体成分分析装置の測定会やまちの保健師活動で体成分分析結果を活用した健康相談を実施する予定。 39歳以下健診の受診促進のため、ウェブ申込みを令和4年度から開始。	・例年参加されている方が多く、新規の方が少なく周知したいターゲットに広がっていない。	とくになし

1-3. 食の安全に関する理解促進

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 食の安全に関する情報提供と啓発	・食品の安全性や栄養成分、食物アレルギーなどの正しい情報を広報・リーフレット・ホームページなどを通して提供していきます。 ・食を提供する民間事業者にも協力を呼びかけ、分かりやすい情報提供を促します。	みどりの推進課	①	・ホームページにおいて、食育推進計画や市が行う食育の取組について情報発信を行った。	・食育月間にあたる、6月号広報において「こしょく」について掲載し情報提供を行った。 ・民間事業者と協力し「おやつの大切さ」について、紙芝居形式でわかりやすい情報提供を行った。	・ホームページの掲載やイベントの参加者への情報提供だと、見る人が限られてしまう。	とくになし
	・乳幼児健診の機会などをとらえて、保護者に対して食物アレルギーに対する正しい理解が進むよう、情報提供を進めます。	健康推進課	①	・各種乳幼児健診・相談で身体計測、発育状態の評価をし、食物アレルギーを含め、食の安全に関する情報提供及び啓発をしています。実施回数と参加人数は以下の通り。 3～4か月児健診 R03:18回、522人 10～11か月児相談 R03:16回、565人 1歳6か月児健診 R03:18回、648人 3歳児健診 R03:18回、729人	・受診対象者が毎回異なるため、各種乳幼児健診・相談で継続して実施していく。	・今後もコロナ感染対策を行い、乳幼児健診・相談を行っていく。	とくになし

長久手市食育推進計画 令和4年度調査シート

…令和4年度からの新規事業

(2)食を通じて豊かな心を育む

2-1. 家族や友人等と食事を楽しむ共食の推進

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 食を楽しむための環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの孤食は、コミュニケーション不足や栄養の偏りなどの原因となったり、高齢者の孤食は、低栄養やうつ病などの原因となったりするといわれています。孤食が引き起こす悪影響について情報提供するとともに、家族や友人、地域の人とともに食事をする共食の大切さを啓発します。</li> <li>「新しい生活様式」に合わせて、在宅時間を活用して食を楽しむための情報提供を行います。</li> </ul>	みどりの推進課	⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにて第2次食育推進計画を掲載し、共食の推進について情報発信を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月号広報において、様々な「こしょく」について掲載し、共食の大切さを啓発した。</li> <li>家庭で調理を行う機会を増やしてもらうため、夏野菜を使ったレシピの提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの掲載やイベントの参加者への情報提供だと、見る人が限られてしまう。</li> </ul>	長久手市食育推進支援会議
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク・ライフ・バランスを進めることで、家族や友人等と食事を楽しむ共食の啓発につなげます。</li> </ul>	たつせがある課	⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」が実施している、「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」では、11月の第3水曜日を「県内一斉ノー残業デー」と定め、働き方を見直す契機となるよう、普及活動に取り組んでいるため、広報及びホームページにて情報の周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度と同様、11月の第3水曜日を「県内一斉ノー残業デー」について広報及びホームページにて情報の周知を実施予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報やホームページだと、見る人が限られているため、多くの市民に対しての情報提供を行うツールの研究が必要。</li> </ul>	とくになし
イ 地域における共食の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者やNPO等と連携・協力するなどして、高齢者同士や地域の子もたちとの共食の場づくりを支援します。</li> </ul>	みどりの推進課	⑧	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者同士や地域の子もたちとの共食の場づくりについて、実施方法等の検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者との共食に対するニーズを把握するための協力者をどのように見つけるか。</li> </ul>	とくになし

2-2. 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 農業体験の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園では、地元農家の協力を得ながら、食育計画に基づき米づくり・野菜づくり、芋掘り体験等を実施します。こうした体験を通じて、子どもの食べ物を大切にすることを育てていきます。</li> </ul>	子ども未来課	①⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園の年長児を中心として、上郷地区の田んぼで田植えと稲刈りを行い、米を育てることについて実際に体験した。また、収穫した米でおにぎり・五平餅などを作ったり、園庭で育てた野菜を調理して食べることで、自ら育てたものを味わう体験をした。</li> <li>また、芋掘り体験を行い、掘った芋を園で調理しおやつとして食べた。家にも持ち帰り、家庭で調理してもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、保育園の年長児を中心として上郷地区の田んぼで田植えと稲刈り等を行い、子どもの食べ物を大切にすることを育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上郷地区の田んぼに6園の年長児が公共交通機関を使っていくことが難しいため、全園で実施できる方法を考えていきます。</li> </ul>	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校においては、農体験の一環として、学校農園を活用した農作物の栽培や調理実習などを実施していきます。</li> </ul>	教育総務課	⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校については、学校農園（学校農園のない学校ではプランター等を活用）において、低学年の生活科では栽培（市小は近隣畑を活用）、中・高学年の理科では植物の観察を主たる目的として活用している。</li> <li>また、中学校では南中、北中に特別支援学級用の農園があり、栽培、観察及び調理を主たる目的として活用している。なお、通常学級の授業のうち技術科においては、栽培を目的とした野菜等のプランター栽培を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校については、学校農園において、低学年の生活科での栽培、中・高学年の理科では植物の観察を主たる目的として活用している。</li> <li>また、中学校では南中、北中に特別支援学級用の農園を活用し、栽培、観察及び調理を行う。なお、通常学級の授業のうち技術科においては、栽培を目的とした野菜等のプランター栽培を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における調理実習を実施する難しさ</li> <li>学校閉校期間中の水やり等の農園管理</li> </ul>	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成こども塾では、市民団体と協力して、土づくりから種まき・苗植え、収穫、調理までの一貫した農業体験の場を提供していきます。</li> </ul>	平成こども塾	⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の活動実績は、計37回。参加人数は、子どもと大人を合わせて919人（平成こども塾サポート隊員と農班の活動による）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の活動予定は、計47回。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポート隊メンバーの高齢化とそれに伴う新規加入者の増員。</li> </ul>	平成こども塾サポート隊
イ 食に関する体験・交流機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村において、生産者と消費者の交流を深めるイベントを開催します。</li> <li>料理教室や料理コンテストなどのイベントを開催し、食に関する知識や調理技術の習得につながる機会を提供していきます。</li> </ul>	みどりの推進課	⑨⑩⑪	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村において、生産者と消費者の交流を深めるイベントの開催方法等を検討する。</li> <li>調理を伴うイベントは開催しにくい状況なので、夏野菜を使ったレシピを発信し、食に関する知識や調理技術の習得につながる機会を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生産者と消費者の交流を深めるイベント」について、市民や生産者のニーズの把握の具体的な手法が定まらない。</li> </ul>	長久手市食育推進支援会議

2-3. 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 食事作法の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園においては、「いただきます」「ごちそうさまでした」の挨拶、箸やスプーンの使い方などの食事マナーが習慣として身につくように指導を行います。</li> <li>家庭においても、基本的な食事作法を習得していけるように、保護者に向けた啓発、情報提供を行います。</li> </ul>	子ども未来課	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶や箸やスプーン等の道具を使って食事がとれるよう指導した。また、食材の栄養価をわかりやすく園児に伝えることで、子どもたちがたくさんの食材を口にする事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、食事マナーが習慣として身につくよう取り組みます。</li> </ul>	とくになし	とくになし
イ 日本型食生活の推進、地域の食文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本型食生活のメリットについて理解を促すため、啓発、情報発信を行います。</li> <li>市の伝統的な食文化や伝統野菜についてのPRを行うとともに、実際に調理し食する機会や栽培する機会を提供します。</li> </ul>	みどりの推進課	①⑩⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページにて第2次食育推進計画を掲載し、日本型食生活の啓発を行った。</li> <li>みどりの推進課窓口において、伝統野菜である真菜の種の配布を行い、栽培する機会の提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ホームページと窓口において日本型食生活と伝統野菜についての情報提供を行う。</li> <li>市の伝統的な食文化や伝統野菜について、実際に調理し食する機会の提供について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの掲載やみどりの推進課窓口での情報提供だと、見る人が限られてしまう。</li> </ul>	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食において、地元農産物の利用や郷土料理を献立として提供するなどして、子どもたちに地元料理や伝統料理を知る機会を提供します。</li> </ul>	給食センター	⑩⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、学校と保育園給食の献立表にメニューに合わせて行事食のいわれや食材についてのコラムを掲載した。</li> <li>学校給食たより「ながくての給食」1学期号で「長久手市産野菜」を、2学期号で「SDGs」の説明をし、3学期号で「長久手市内の畑」についての記事を掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、学校と保育園給食の献立表にメニューに合わせて行事食のいわれや食材についてのコラムを掲載する。</li> </ul>	とくになし	とくになし

長久手市食育推進計画 令和4年度調査シート

…令和4年度からの新規事業

(3) 食を通じて環境に優しい暮らしを築く

3-1. 食生活における環境への配慮

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 無駄や廃棄の少ない食事づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコクッキング(環境に優しい料理・料理方法)を普及するための啓発活動を行うなど、環境と食との関わりについて学習する機会を提供します。</li> <li>食料の適量購入、食べ残しをしないなどの無駄や廃棄の少ない食事づくりを普及していくための啓発、情報提供を行います。</li> </ul>	環境課	⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>東邦ガス(株)ガスエネルギー館の協力で、親子エコ・クッキング教室の開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。</li> </ul>	中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大により複数人で料理することが困難。</li> </ul>	とくになし
イ 食品ごみ削減のための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村では、残菜の堆肥化を進め、食品廃棄物の減量に取り組めます。</li> </ul>	みどりの推進課	⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村に野菜くずを使った堆肥化装置が設置してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、堆肥化装置を設置し食品廃棄物の減量に取り組む。</li> </ul>	とくになし	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭から出た生ごみをコンポストで堆肥化し、循環利用できるよう支援します。</li> </ul>	環境課	⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年は15基の補助金を交付した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象品目を拡大し、より多くの方へ利用促進ができるように努める。</li> </ul>	とくになし	とくになし
	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭で余剰になった食品をフードドライブで有効活用していくなど、活動を実施している市民団体等を支援します。</li> <li>フードバンクや地元の事業所等で規格外の野菜の有効活用を検討するなど、生産者、活動団体等の情報交換の場を提供していきます。</li> </ul>	福祉課	⑫	社会福祉協議会と共催により、家庭等で余っている食料品を募り、NPO法人セカンドハーベスト名古屋を通じて生活困窮者や世帯に届けるフードドライブ事業を実施した。 ・実施期間 令和3年10月26日～令和3年10月31日 ・受入れ先 市社会福祉協議会、各小学校区共生ステーション ・寄贈者数 33人(社協窓口来所者のみ) ・寄付食品 米類717.4キロ、缶詰145個、インスタント食品123個、調味料各種101個、乾物86個、飲料99個、お菓子283個	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して実施する。実施期間を令和4年7月1日から令和5年3月31日までに拡大し、実施場所を社会福祉協議会、エコハウス、リニモテラスの3カ所に拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設だけでなく、多数の人が利用する民間施設とも連携したい。</li> </ul>	とくになし

3-2. 農業への理解促進と地元農産物の消費拡大

項目	概要	担当課	関連する数値目標	R3年度取組実績(参考)	R4取組実施方針	事業を実施する上での課題等	連携している市民団体
ア 直売所における生産者と消費者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業が地域に果たす多面的な役割についてPRしつつ、地域で生産される農産物の利用促進に向けた啓発、情報発信していきます。また、旬の農産物やその料理方法などについても学習できるように情報発信を工夫していきます。</li> <li>消費者に地域の生産者、農産物についての理解をより深めてもらうために、消費者と生産者との交流の機会を提供していきます。</li> <li>こうした交流を進める中から、消費者と生産者の想いに添った商品、サービスの開発・提供を促していきます。</li> </ul>	みどりの推進課	⑪	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬の野菜(夏野菜)を使ったレシピを作成し、食育イベントの参加者に配布したことで、旬の農産物やその料理方法などについて情報発信を行った。</li> <li>消費者と生産者との交流の機会の提供等について、実施方法等を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生産者と消費者の交流を深めるイベント」について、市民や生産者のニーズの把握の具体的な手法が定まらない。</li> </ul>	とくになし
イ 地産地消・旬産旬消の推奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元で生産された農産物を地元で消費する地産地消の取組の意義・メリットについて情報発信を工夫していきます。</li> <li>生産者団体等と協力しつつ、市内産農産物の安定供給に向けた体制づくりを支援します。</li> </ul>	みどりの推進課	⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根ざした給食作りのため、長久手給食食材生産会やあくりん村と連携し、市内産の青果物を取り入れるようにした。</li> <li>毎月、給食食材生産会を開催し市内の農産物を給食に使ってもらえるように支援をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根ざした給食作りのため、長久手給食食材生産会やあくりん村と連携し、市内産の青果物を取り入れるようにする。</li> <li>毎月、給食食材生産会を開催し市内の農産物を給食に使ってもらえるように支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食食材生産会の参加者が少なく、情報共有等をつまく行えないので、生産会の委員に対して強く呼びかけを行うことが必要。</li> </ul>	長久手市給食食材生産会
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食などでの市内産・県内産の農産物の利用を進めます。</li> </ul>	給食センター	⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、給食の食材に地元産の利用を促進した。</li> <li>地域に根ざした給食づくりのため、長久手給食食材生産会やあくりん村と連携し、青果物などを可能な限り取り入れるようにした。</li> <li>また、みどりの推進課と給食用物資納品希望規格を協議した。</li> </ul> 【地元産農畜産物の全体に占める割合(重量ベース)】※米飯、牛乳除く。 R3 長久手市産2.00%、愛知県産39.45%	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、給食の食材に地元産の利用を促進し、地域に根ざした給食づくりを可能な限り行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天候や生産状況により青果物の使用が困難になることが度々おこっている。</li> </ul>	長久手給食食材生産者会
ウ 農との関わり場のづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村等の農産物直売所の機能を充実を図ります。</li> <li>長久手ふれあい農園たがやっせや長久手農楽校など、趣味的に農と関わりたい人から本格的に農業に取り組んでみたいと考える方まで、関心のレベルに応じた農との関わり場の場を提供します。</li> <li>農家や地域が実施する農業体験イベントなどの開催を支援します。</li> </ul>	みどりの推進課	⑨⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>あくりん村の増築を行い、農産物直売所の機能の充実を行った。</li> <li>長久手農楽校修了者数 R3 農力向上コース19人 基礎コース18人 市民農園利用者数 R3 66人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、あくりん村と協力しながら農産物直売所の機能を充実を図る。</li> <li>農との関わり場の場や農業体験イベントなどの開催の支援について、検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農家や地域が実施する農業体験イベントの開催について、ニーズの把握の具体的な手法が定まらない。</li> </ul>	とくになし



## 数値目標

### 1 食を通じて健康な体をつくる

	項目	指標	現状値(2020)	目標値(2026)
①	食育についての関心	食育に関心のある市民の割合	(全体) 92.8%	(全体) 95%以上
②	朝食を毎日食べる習慣	毎日朝食を食べる児童の割合	(児童) 91.0%	(児童) 98%以上
③		毎日朝食を食べる生徒の割合	(生徒) 82.1%	(生徒) 98%以上
④		毎日朝食を食べる市民の割合 (15歳～39歳)	(15歳～39歳) 80.6%	91%以上
⑤		毎日朝食を食べる市民の割合 (40歳～59歳)	(40歳～59歳) 88.5%	91%以上
⑥	自分の適正体重の認識と 体重コントロールの実践	自分の適正体重を認識し、体 重コントロールを実践している 市民の割合	(市民) 39.0% (保護者) 35.1% (全体) 36.4%	(全体) 40%以上
⑦	朝食で野菜・海藻を食べ る習慣	朝食で野菜・海藻を食べてい る小中学生の割合(児童・生 徒)	(児童) 58.3% (生徒) 56.0%	(児童) 80%以上 (生徒) 80%以上

### 2 食を通じて豊かな心を育む

	項目	指標	現状値(2020)	目標値(2026)
⑧	家族や友人等と一緒に食 事をとる	1日最低1食、家族や友人と一 緒に食事をとる市民の割合	(市民) 73.1% (保護者) 97.2% (全体) 89.3%	(全体) 90%以上
⑨	農作業の体験	農作業体験をしたことがある 小中学生の割合(児童・生徒)	(児童) 88.4% (生徒) 83.5%	(児童) 90%以上 (生徒) 90%以上
⑩	伝統的な野菜や郷土料理 の認知度	長久手市の伝統的な野菜(真 菜)や郷土料理(おこしもの) を知っている市民の割合	(市民) 40.3% (保護者) 62.9% (全体) 55.5%	(全体) 60%以上

### 3 食を通じて環境に優しい暮らしを築く

	項目	指標	現状値(2020)	目標値(2026)
⑪	地元農産物の購入(地産 地消)	愛知県内で生産された農作物 を購入するようにしている市 民の割合	(市民) 28.1% (保護者) 34.0% (全体) 32.1%	(全体) 35%以上
⑫	環境に優しい暮らし	無駄や廃棄の少ない食事づく りを積極的に行っている市民 の割合	(市民) 17.3% (保護者) 18.8% (全体) 18.3%	(全体) 50%以上

### 4 食育を支える取組を推進する

	項目	指標	現状値(2020)	目標値(2026)
⑬	食育の推進に関わるボラ ンティア	食育の推進に関わるボラン ティア数	201人	350人